

Digica 印字斜行に関するプリンタ本体以外の要因例

以下、印字斜行の原因になっているよくある事例をまとめてあります。

□用紙セット時の注意点

左右用紙ガイドについて



左右の用紙押さえガイドを用紙にピッタリと付くように挟んでください。用紙と用紙押さえガイドに隙間が出来てしまうと印字斜行の原因になります。
※用紙先端の突き当てで位置を合わせずに、必ず左右の用紙押さえガイドで位置を合わせて下さい。

用紙の積みすぎに注意！



このように用紙を大量にセットする事は不可能ではありませんが、左右の用紙ガイドと給紙される用紙との間に隙間が出来やすく斜行の原因になります。可能であれば名刺 1 箱（100 枚）ずつでのセットが無難です。

次ページへ続く

前ページからの続き

用紙の反りに注意！



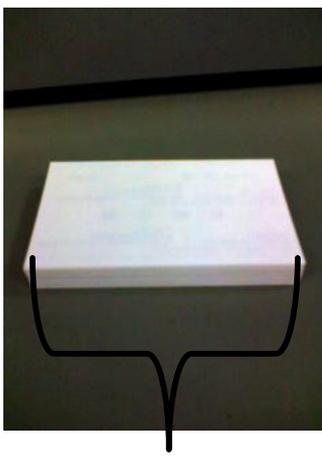
反りのある用紙
※極端な例



反りのない用紙

左図のように用紙によっては反りがどうしても出てしまうものがありますが、反りがある事によって、用紙ガイド等への引っ掛かりや隙間が出来る恐れがあり、斜行の原因となります。
左右/前後の反りを確認し、反りがあるようでしたら極力反りがなくなるよう手で修正した用紙をセットします。

種類の違う用紙を重ねてセットしない (用紙横幅に微妙なバラつきが出る)



横幅に微妙なバラつきが出る

種類の違う用紙を重ねてセットしたり、その他の要因にて用紙の横幅に微妙なバラつき（コンマ数ミリ程度）がある場合、左右の用紙ガイドと給紙される用紙との間に隙間が出来やすく斜行の原因になります。
同じ種類の用紙で左右をそろえた時に横幅に微妙なバラつきがない事をご確認下さい。

前ページからの続き

□その他の注意点

□用紙による違い：

斜行の出ない用紙と出る用紙があるかご確認ください。「斜行の出ない用紙があり、違う用紙では斜行が出る」というような場合は機械本体の原因ではなく用紙と機械の相性になります。その場合回避する事は厳しくなります。

□両面印刷時は注意：

印刷された面を裏返して両面印刷する事となりますが、レイアウトによってはローラと印字部分のすべり具合によって斜行が発生する場合があります。その場合は用紙セットの向きを変えてみたり印刷する面の順番を換える事によって斜行を回避できる場合もあります。

□ローラ清掃の必要性：

用紙の紙粉、予め印刷機でロゴ等を印刷してある場合などのパウダー(粉)などがローラに溜まると斜行の原因になります。ローラ清掃はこまめに行ってください。

※ローラ清掃方法は別紙ご参照願います。

※本資料はよくある一事例となります。

プリンタをご使用いただく際のご参考としてご利用下さい。

また、弊社ホームページにプリンタの「Q&A」や「清掃方法」等がございます。あわせてご利用下さい。

<http://www.yamazakura.co.jp>

(上段メニューの「サポート・ダウンロード」から入ってください)